

特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.30

“GHCH熱” 高まる！！

今年度に入り、今まで以上にグループホーム・ケアホーム（GHCH）への関心や要望が高まってきました。イマジンが“つつい雨やどり”を開所した事もあり、当事者としての意識を持っていることから、この“GHCH熱”を強く感じることもあるのだと思いますが、それだけではないようです。

その要因を考えてみると第1に、入所施設・児童施設の新法移行があります。入所施設に関しては、新法へ移行をすると障害程度区分により利用できなくなってしまう方がいます。また、児童施設に関しては、成人となって利用をしていた加齢者が利用できなくなります。第2に、精神障害者の退院促進事業があります。長い入院生活から社会に出て来た時に、自宅に戻ることが困難な方が多く、まして急に独り暮らしは難しいのが実情です。地域の受け皿として必要性が高まっています。これらの事情による退所・退院予定のご家族から問い合わせや相談、見学などがたくさんありました。しかし、1番の要因は“地域に生活されているご家族の意識”が変わったからだだと思います。今まで遠い存在だったGHCHも今では自分の生活する地域にあることを知り、自分の知っている方が入居されていたり、自分が考えているよりも若い方が入居されている事を知った事でGHCHへの見方や考え方に変化が起きていると感じます。これらの“考えざるを得ない”という方々と“これから考えていこう！”という方々が、このGHCH熱を高めているように思います。とは言え、まだまだ“未知の世界”“親亡き後、入所施設のように”というご家族が多い現状も依然としてあります。この現状を打破するために“ど・まんなか”の相談支援事業所や各サービス事業所などの協力を得てシンポジウムや研修会も開催されました。イマジンでは、9/6に焼津のウェルシップやいづでで開催された「地域生活を考える～グループホームでの暮らしを考える～」と11/21に藤枝の生涯学習センターで開催された「地域支援のための研修会～地域での暮らしを考える～」にシンポジストとして参加させていただきました。多くの方が参加されGHCH熱を直に感じてきました。県行政も様々な機会に市町行政や各サービス事業所、関係機関を集めては支援者向けのシンポジウムや研修会を開催しています。利用者、事業所、行政と全員が同じ方向を向く事で大きく変わろうとしている何かを感じます。

ただ1つ気になることがあります。利用者とは前記しましたが、実際には“利用者の親”になります。イマジンが日々考え、頭を悩ませているのは“利用者本人の生活”です。大げさに言うとならば“人生”そのものです。入居される利用者本人にとってGHCHとはどんな場所になればいいのでしょうか？どんな生活を送ればいいのでしょうか？何が必要なのでしょうか？GHCH熱にうなされる毎日です(笑)。(担当 沢島)



9/6 焼津にてシンポジウムの様子



11/21 藤枝にてシンポジウムの様子

“ついつい雨やどり”の生活 ②

前回の通信では入居者の方々の生活についてお話して頂きましたが、生活に大きな変化があったのは入居者の皆さんだけではなく、入居者のご家族の生活も大きく変化しています。多くのご家族から「別々に暮らすようになって寂しい、心配。」と言った声はもちろん聞かれます。しかし、日が経つにつれて「安心して仕事に行けるようになった。」「自分の両親(祖父母)と関わる時間ができた。」「気兼ねなく自分が病院に行けるようになった。」「自分のために付き合い・趣味などに時間を使う事が出来るようになった。」などの声が聞かれるようになりまし



金谷 茶まつり

た。それと共に、「距離を置く事で落ち着いて子供のことを見る事ができるようになった。」「お互いの生活・将来に見通しが持てるようになった。」との声も聞かれ、時間の経過と共にその声は大きくなってきています。GHCHへの入居は「子の自立」だけではなく「親の自立」でもあるようです。親と子がそれぞれの生活を送りながら「元気にしてる?」「ちょっと困ったんだけど…」と行き来が出来る関係。とても理想的な親子の形の1つではないでしょうか。離れて暮らしていても、家族である事に変わりありません。離れて暮らす家族として、「何が出来るのか?何をしなければならないのか?」を一緒に考えていきたいと日々思っています。

GHCHを希望する声は日に日に高まってきています。ついつい雨やどりに多くの方が見学に来られます。GHCHを希望する皆さんにとって“入居をするタイミング”は悩む所のひとつだと思います。ついつい雨やどりの開所が決まった際も、「もう少し自分たちで頑張るので今回は…。」と決断されたご家族が何人もいらっしゃいました。今回、入居者のご家族全員から聞ける一致した感想は、「早く入居して良かった!」と言う事です。「今なら自分がまだ元気で、何かあった時に助けてあげられる。もう少し遅かったらきっと何もしてあげられない。」「今はまだ若くて柔軟性がある(本人)からこんなにスムーズに適応できたんだと思う。」などの意見が多く、入居のタイミングが早すぎたと感じているご家族はいらっしゃいませんでした。まだまだ『GHCH=家族と暮らせなくなった方の行く場所』とのイメージが強いように感じます。おそらくご家族も本人も高齢になってきた時に…と。しかし、その時はいつやってくるか分かりません。地域の中で安心した生活を送り続けるためには、ご家族が元気なうちに、本人が多く的事を受け入れられるうちに、それぞれが自立した生活を送る事が重要なのではないかと強く感じています。

ご家族は、とても心配していた新生活がスムーズにスタートできただけでなく、笑顔で生き生きと生活している彼らの姿に驚きを隠せない様子です。ずっと一緒に暮らしていたからこそ見えなかった、見えなかった、もしくは自分たちが奪ってしまっていた本人たちの姿に、「家ではやらなかったのに。」「そんなこともできるの?」と首を傾げます。そして、そんな彼らのたくましさや力強さに「決断して良かった!」と声をそろえておっしゃいます。

我が子と離れて暮らすご家族の心配や不安は計り知ることができません。そんな中でも「良かった。」「これからもお願いします。」と声を掛けられる度に、身が引き締まる思いでいっ



食事の時間

いになります。彼らの笑顔は、彼らの力から生まれるものです。「支援者」と言っても、いつも彼らに支えられて支援をさせてもらっています。彼らが笑顔で生活を送れるために、「私たちが出来る事を精一杯考え・行動していこう。」と入居者の皆さんやご家族と話をする度に励まされ、力をもらっています。そして、GHCHの楽しさと大変さと必要性を強く強く感じています。(担当 北川)

課題が山盛り♪ でも好きです♪

つつい雨やどりの立ち上げ時より世話人業務に8ヶ月間従事してきましたが、始まってみると様々な課題点が浮かび上がってきました。まず第一に感じているのは“世話人同士の意識の統一”です。直接顔を合わせて話をする機会が少なく、世話人によっての対応の仕方が変わってしまい、利用者さん達を混乱させてしまうことがあります。次に、食事面も大きな課題です。“食への欲求”を満たしてあげたい反面、栄養面も考慮しなくてはなりません。また、健康状態も人それぞれ違うために利用者さんに合わせたメニューを考える必要があります。休日の過ごし方も課題です。なかなか自発的にスケジュールを立てることが難しい方が多いので、有意義な休日の過ごし方を世話人が一緒に考えてあげることも大事なことです。その他にも衛生管理、金銭管理など課題は山積していますが利用者の皆さんがより良い生活を送れるように世話人同士がよく話し合い、日々改善をしながら頑張っていくと思っています。皆さんの笑顔が何よりの励みです。
(世話人 渡辺)

川・海・山！ 自然を満喫！

9月は、大井川の河川敷にある赤い道「リバティ」をサイクリングとウォーキングの2グループで暑さの残る中、川から吹く気持ちい風を感じながらから“川”を満喫！10月は、用宗海岸にある海洋公園を目指してJRにて電車で移動。用宗駅からはウォーキングにて向かいます。途中、車通りの多い道も仲間と一緒に「車に気をつけよう！」と声を掛け合いながら一列で歩きます。まだまだ暑く、自動販売機を見かけるたびに足が止まりそうになります。突然、眼前に広がる大きな海！どこまでも広がる青空！水平線が果てしなく広がり“海”を満喫！11月は、島田市の「千葉山」を目指してコミュニティバスにて天徳寺まで移動。天徳寺で全員トイレを済ませ準備万端。山頂を目指して出発！時折走ってくる車に気をつけながらウォーキング。遅れる仲間のペースに合わせてようと日向を探して休憩をとります。なかなか来ない仲間を心配して、みんなで相談。みんなで出した答えは「迎えに戻る」でした。山間は肌寒く、秋を感じるには十分でしたが、みんなの温かい気持ちで“山”を満喫！

この3ヶ月間は本当に自然を満喫しました。でも、一番満喫したのは“仲間との時間”だったのでは…？そして、地域の方々との関わりだったと思います。デイサービスは毎回違う仲間と地域に出ていきます。参加者の年齢、住んでいる地域、日中の活動なども様々です。活動を通して名前を覚え、仲間になっていきます。デイサービスに繰り返し参加していただくたびに、その絆が深くなっていくのが分かります。仲間を思い、許し、認め合う貴重な時間がそこにはあります。また、町中を歩いている時やバスや電車の中で地域の方に「どこまで行くの？」「ここ座っていい？」などと声をかけられたり、「ここはね…」などとガイドをしてもらったり、「もう少しだよ。頑張って！」などとエールをいただいたり。車で移動するのは楽だけど“人との関わり”は得られません。デイサービスは“地域に出ていく→地域で暮らしている”ことを満喫する貴重な時間です。(担当 古木)



9月 リバティにて風を感じて



10月 用宗駅前にて一休み



11月 千葉山に登りま〜す♪



平成20年度の会員になっていただきありがとうございます。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|---------|
| ☆青嶋勝男様 | ☆大石 京様 | ☆大柄和彦様 | ☆大谷祐美子様 | ☆大塚信子様 |
| ☆岡崎金二様 | ☆掛本さえ子様 | ☆加藤泰雄様 | ☆加藤佳宏様 | ☆亀井由季子様 |
| ☆金子信義様 | ☆菅 位作男様 | ☆喜田星夫様 | ☆黒河内三起子様 | ☆小林桂輔様 |
| ☆斉藤哲夫様 | ☆酒井勝利様 | ☆榊原顕寿様 | ☆桜井順子様 | ☆杉本恭子様 |
| ☆杉本唯夫様 | ☆鈴木 修様 | ☆鈴木康之様 | ☆鈴木利春様 | ☆鈴木英行様 |
| ☆片瀬正治様 | ☆高木有幸様 | ☆竹内伊知朗様 | ☆田中 進様 | ☆田中久規様 |
| ☆田中義規様 | ☆田村淑子様 | ☆高橋聡子様 | ☆塚本 厚様 | ☆内藤 隆様 |
| ☆永井孝次郎様 | ☆仲田るみ子様 | ☆名波久範様 | ☆成瀬昭彦様 | ☆西尾和義様 |
| ☆萩原とも子様 | ☆橋ヶ谷正彦様 | ☆古木陽子様 | ☆松下勝廣様 | ☆松本秀男様 |
| ☆増田孝子様 | ☆増田俊彦様 | ☆増田康秀様 | ☆又平和夫様 | ☆三浦 勇様 |
| ☆宮浦克枝様 | ☆村上 操様 | ☆森下郁乃様 | ☆森田 茂様 | ☆森本輝一様 |
| ☆山内佐敏様 | ☆山内美保様 | ☆八木哲仁様 | ☆八木弘幸様 | ☆安井 茂様 |
| ☆山河勇治様 | ☆山本隆行様 | ☆山本珠美様 | ☆油井 勝様 | ☆横山登喜雄様 |
| ☆吉添みえ子様 | | | | |

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても下記口座まで振り込まれても結構です。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

振込先 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

お知らせ

◆◆ グループホームでの暮らしを考える ◆◆

グループホーム・ケアホーム(GHCH)ってどんなところ?、どんな風に暮らしているの?、いくらぐらい必要なの?などなど…分からないことが多いと思います。そこで、島田市近隣の市町で現在GHCH事業を行っている事業所の協力を得て、それぞれのGHCHの紹介をしてもらいます。実際に実践している生のお話を写真やスライドを使って分かりやすく説明します。後半はシンポジウムもあり、分からないことを直接聞いていきましょう!ぜひ、ご都合をつけてご参加ください!

**日時：平成21年2月5日(木) 午前 9:30開場 10:00開演 GHCH紹介
 午後 1:00～ シンポジウム 2:30終了**

場所：フラザおおるい(島田市) ホール

申込・お問い合わせは、イマジンまで!お気軽にお申し込みください!



連絡先 特定非営利活動法人 イマジン
 〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4
 TEL 0547-34-3370
 FAX 0547-34-3371
 e-mail imagine@za.tnc.ne.jp
 URL <http://www3.tokai.or.jp/imagine/>